

令和3年度第3回JSSR国際委員会 議事録

日時：令和3年9月25日(金)20時30分-21時10分

場所：web開催(Zoom ミーティング)

出席：伊東学（担当理事），中村雅也（委員長），石井賢，小澤浩司，川口善治，酒井大輔，高橋真治，高畑雅彦，玉井孝司，宮城正行，村上英樹，八木満，千葉一裕（アドバイザー），松山幸弘（理事長、アドバイザー），波呂浩孝（アドバイザー）

欠席：大和雄

議題

1 審議事項

Spineweek 2023 への参加に関して

中村委員長より JSSR として Spine week2023 にどのように参加するか議論が必要であることが提案された。

JSSR の国際委員会のみではなく、JSSR として参加するか？学会ごとに Spineweek への寄与は異なり ASSI は距離的に近いので、参加に力を入れているが Spineweek へは参加を取りやめている国際学会も多い。JSSR 学会員が APSS や AO、ISSLS や Biospine などの参加予定の学会に既に寄与しているので、さらに JSSR として参加するのは人員の分散してしまうのではないかという懸念がある。JSSR 学会員は Spineweek に参加したとしても、これらの学会に参加登録することが予想されるため、JSSR として参加費に基づく収入が得られるかどうかも疑問である。

Spineweek に JSSR として 1 枠しか枠がないことは以前から同様の枠組みで参加しているため、2023 年の Spineweek の枠に JSSR が 1 枠という事は大きな違和感はない。

JSSR として 2 枠程度(2023/5/3, 15:00-16:30)の参加が妥当ではないかとの意見が提案され、全会一致で承認された。

また、松山理事長と酒井委員が 9/12 に開催予定の APSS の board meeting で本件に関して APSS の状況を確認することとなった。

また、Spineweek に対する最終返答の前に参加人数等に基づく JSSR の収入等に関して中村委員長より確認することとした（前回は参加費の 20%が各学会へ還元された）。